

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol. 89

令和6年5月号

新しい発見！

最近ニュースで「地域・都市・自治体独自の取組みがよく取り上げられています。

気付かれている方も多いかと思えます。

国会でいろいろなニュースが目立っている一方で、

いい感じに地域・都市・自治体が各々の課題解決を主体的に計画・実行

されているニュースが報じられています。

例えば、奈良県での介護予防の取組み。

昔の街のクリニックが何となくの集まる場所で交流や相談・見守りができていた「あのカタチ」

それが、公民館やお寺さん・神社などで行われている。

また、淡路島は「パソナ」という企業の本社を誘致して、

人口減少対策・将来住みたくなる場所の実現に向けて動いています。

外国人観光客誘致を細かな地域で地域住民と行政でアイデアを出して

企画している事例もたくさん今、あります。

きっと、人口減少や高齢化、日本経済の衰退など

自分事として捉えられるようになってきた結果なのでしょう。



私は、そんな日本人の気配りがとっても好きです。

みんなで力合わせて！ということが、日本国民は本来、得意なこと、と私は信じているので。

このいい気運を私、ぶらんちでもカタチにしていきたい、と考えています。

介護業界を盛り上げよう！！

自費サービスについて

介護保険サービスの内容や時間に制限が

年々増えていく中、

サービスとして見守りなどを含め、

もう少し長く滞在してサービスして欲しい、

というご希望はどんどん増えていますし、

今後も増えていくでしょう。

家事代行サービスと違い、

介護資格保有者のサービス対応ですので、

その費用については、

ある程度の費用が必要です。

港区の訪問介護事業者も全国の訪問介護事業者

も、その費用については

試行錯誤しているのが現状です。

私としては、

介護保険制度同様、地域格差はどうしてもあります

し、昨今、働く人に対する対価はある納得感ある

費用ではないと、働く人がいなくなるため、

費用の見直しは必須、と考えます。

ぶらんちの今を紹介

今年3月から

こんなサービスを始めています。

手芸の家庭教師。

ご利用者様のご家族様で、

手芸が得意な方がいらっしゃり、

弊社の利用者様が手芸をしたい、

という要望とマッチングさせていただきました。

このご家族様は、

もちろん、弊社ご使用者様のご家族様、ですから

介護、について理解されていらっしゃいます。

ここが重要で、

手芸が得意、という方はたくさんいらっしゃいます。

しかし、それだけでは、厳しい。

言葉、動き、気持ちをある程度理解できる、

それが重要で、そこがクリアされているので、

とてもいい感じで、

作品が出来上がっていています。

このような、「繋ぐ」という事業を

今後も続けていきたい。

もし、提供できる技等があるご家族様が

いらっしゃたら、教えてください。

共に笑顔の輪が広がることをしたい

よろしくお願い致します。